

会員各位

## ASDO・JSCA 東京共催 技術研修会のお知らせ

## シリーズ「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」

第1回 鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準の概要 - AIJ 保耐規準の特徴と課題 -

講師：元 千葉大学大学院教授 和泉信之 先生 (JSCA 名誉構造士)

共催 一社) 東京構造設計事務所協会 (ASDO)  
一社) 日本建築構造技術者協会 (JSCA 東京)

日本における近代建築は、明治末期から大正初期にかけてコンクリートと鉄材技術が輸入され、RC造、S造、SRC造の建築が生み出されることを契機として動き始めたといわれています。<sup>\*1)</sup>

それからこれまで100年以上に渡って鉄筋コンクリートは、鋼材と共に構造設計者にとって最も馴染深い構造材として存在し続けています。しかし顧みると、その本質について深い理解がないまま使っていないかという懸念もあります。設計図の中の仕様書にコンクリートの圧縮強度を記載しておけば、構造計算の前提としている鉄筋コンクリートの性能が確保されると思っています。しかしコンクリートがそれほど簡単な素材ではないことは、構造設計者なら感じているはずです。

そこで今年は4回に渡って、千葉大元教授の和泉先生からRC造に関連した問題をお話いただくこととなりました。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

\*1) 山本学治著 「現代建築と技術」 昭和38(1963)年6月 彰国社刊

## 和泉先生よりのメッセージ

「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」と題して、皆さんと一緒に4回にわたってRC造建物の構造設計について考えていきたいと思います。第1回と第2回は、実務設計に多く用いられるルート3の保有水平耐力計算に関する日本建築学会「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準」の要点と設計への提案についてです。第3回は、建設業技能者が高齢化し減少するなかで省力化工法として注目される「現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造」の進展についてです。最終回の第4回では、巨大地震への対策が求められる現代社会におけるRC造建物の耐震余裕の重要性について、「超高層鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価」の事例を取り上げて考えます。

まず、第1回のテーマは、「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準の概要 - AIJ 保耐規準の特徴と課題 -」です。RC造建物の一次設計では、RC規準が実務計算の準拠規準として活用されてきました。一方、二次設計にはRC規準のような学会の計算規準がないため、10数年の検討作業を経て本規準が刊行されました。その骨子が公表されたのは、2011年AIJ大会RC部門PDでした。その後、検討が進められ、規準案が2016年に提示され、さらに最新の研究成果を反映して2021年に規準として刊行されました。

規準では、現行の法規定に基づく慣用的な設計方法と比べた場合、対象とする崩壊形は規準として推奨できる全体崩壊形や所定の部分崩壊形とするために、その適用範囲が限定されています。その崩壊形を確実に実現するために、保証設計では非ヒンジ柱・層水平耐力などに関して必要と考えられる規定が設けられています。さらに、柱梁接合部の検討は新しく規定されています。また、現行の設計方法を補完するために、増分解析の解析終了判定や崩壊形形成時の応力算定法、壁部材の種別などに関する規定が設けられています。一方、部材種別の判定においては、実験データに基づく判定方法が提示されており、この方法は所定の条件を満足すれば現行の法規定による設計値を結果的に緩和するものです。

第1回では、本規準の概要についてご説明し、その特徴である崩壊形と適用ルート、崩壊形の保証設計などについてお話しします。その際、規準のねらいについて、作成当初から参加するなかで考えてきたこともお話ししたいと思います。実務設計において本規準が活用されることにより、RC造建物の耐震性が一層向上することを期待しています。

## シリーズ「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」

### 第1回「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準の概要 -AIJ 保耐規準の特徴と課題-」

日時 : 2024年6月18日(火) 18時00分～

受付 : 17時30分より

場所 : 日大理工学部駿河台校舎1号館 2階 122会議室 (千代田区神田駿河台1-8-14)

対面会場をメインとして開催いたします。

および オンライン配信 (ZOOM 配信、YouTube ライブ配信)

(YouTube ライブ配信は後日でも視聴可能です。)

プログラム: 司会 市村隆幸 (株親交設計、ASDO 副会長)

18:00～18:05 趣旨説明 金田勝徳 (株構造計画プラス・ワン)

18:05～19:35 講演 元 千葉大学大学院教授 和泉信之 先生

19:35～20:00 質疑応答

講演会参加費 (対面、オンライン共通)

お申し込み時にイベントサイト「Peatix」にてお支払いください。

ASDO 正会員・準会員・賛助会員 : ¥1,000

JSCA 正会員・一般会員・賛助会員・学会会員 : ¥1,000

非会員 : ¥2,000

学生 : 無料

対面会場をメインとした開催となります。ぜひ対面にてご参加ください。

ASDO、JSCA 会員外の方、構造設計業務の関係者、学生、その他の方々のご参加も歓迎いたします。是非ご参加ください。

参加希望の方は、下記申込みフォームよりお申し込み下さい。

申込後に配信 URL や詳細をお知らせいたします。

→ <https://asdo240618.peatix.com>

お申し込みの際、

イベントサイト「Peatix」に登録する必要があります。

お手数おかけしますがよろしくお願いいたします。

また Peatix で「ASDO 研修委員会」フォローいただきますと今後 ASDO 関係のイベント情報が届きます。ぜひフォローをお願いします。



お申込みフォーム QR コード

申込締切日 2024年6月12日(水)

申込締め切り日を過ぎますと、連絡先メールアドレスが登録されず、配信 URL や変更事項などをお知らせできなくなる場合がございます。必ず締め切り日までにお申し込みください。

ご不明な点などございましたら、**問合せ先 e-mail : kensyu@asdo.or.jp** までご連絡ください。

(ASDO 事務局へのお電話による直接のお問合せはお控えください。)

インボイス対応の領収書につきましては、イベントサイト「Peatix」で申込後、送信されるメールからイベント視聴ページへ移動をクリックすると領収書ダウンロードのリンクが表示されます。

